

ミニブック「花火の化学」販売中!



ミュージアムショップ

もっと詳しく知りたい方のために・・・

岳川学芸員が、花火の化学をわかりやすく解説しています。「花火の温度は何度?」「水の中でも花火ができる?」などの疑問にもお答えします! これを読めば、きっと新しい花火の世界が広がります。夏休みの自由研究にもおすすめの1冊です。

大阪市立科学館ミュージアムショップにて
100円(税込)で販売中

ほぼ同時開催

科学館×図書館ひらめきコラボ展

「化学の目で見る花火展」



大阪市立中央図書館 蔵

●公開期間 6月17日(金)～8月17日(水)

●会場 大阪市立中央図書館

大阪市立中央図書館と大阪市立科学館が、初めてコラボ展を開催します。大阪市立科学館が所有する花火の化学に関する資料と、大阪市立中央図書館が所蔵する花火に関する資料を通して、花火の新しい世界にみなさまをご案内します。

※開館時間・休館日等は大阪市立中央図書館にお問い合わせください。



大阪と花火の化学講演会

花火の美しい色や光はどうやって出すの? 花火はどうやって作るの? 天神祭の花火の裏側は? ...などについて、科学館の化学担当学芸員と花火師、そして大阪天満宮の神職が、楽しく詳しくご紹介します。これまでよりも、もっと花火を楽しめるようになるはず!

■内容(予定)

- 「花火の世界(仮題)」葛城煙火株式会社 花火師 古賀章広氏
- 「天神祭奉納花火の裏側(仮題)」大阪天満宮 禰直 岸本政夫氏
- 「花火の化学-実験を交えて-」大阪市立科学館 主任学芸員 岳川有紀子

- 開催日 8月10日(水)
- 時間 14:00～16:30
- 会場名 大阪市立科学館 研修室ほか
- 対象 小学5年生～一般
- 定員 100名(応募多数時抽選)
- 参加費 ひとり500円
- 応募方法 往復ハガキに、席が必要な方全員の、住所、氏名、年齢(学年)、電話番号を記入し、大阪市立科学館「花火の講演会」係へ
- 申し込み締め切り 7月28日(木)必着
- 主催 大阪市立科学館
- 協力 大阪天満宮 葛城煙火株式会社

料金・開演時刻・
申し込み方法などの詳細は、
ホームページをご覧ください

学芸員のおススメコレクション

大阪文化財研究所 ガラス小玉鑄型

7世紀中ごろの難波遷都、難波宮の建設という画期的な歴史には、5世紀前半以来の長い前史がありました。難波宮の地で発見される古い遺跡(下層遺跡)の起源は古墳時代中期の須恵器の窯や大型の倉庫群などです。また5世紀の竪穴建物ではガラス小玉の鑄型が発見されました(写真左側)。円板状の粘土の表面に直径5mmほどの丸いくぼみを多数あけ、溶けたガラスを流し込む製法でした。その後も7世紀前半までの鑄型が発見され、難波ではガラス生産が長期間行われていたことがわかります。同様の鑄型は朝鮮半島でも見つかるので、古墳時代のガラス工芸の源流が彼の地であったとみられます。

(大阪文化財研究所学芸員 積山 洋)

※今回紹介した鑄型は、大阪歴史博物館の特別企画展「都市大阪の起源をさぐる 難波宮前夜の王権と都市」<7月16日(土)～8月29日(月)>で展示します。

大阪文化財研究所 ●ホームページ <http://www.occpa.or.jp/>



ガラス小玉鑄型
古墳時代中期から飛鳥時代
大阪文化財研究所保管

大阪市立の博物館・美術館・動物園
Osaka Museums
<http://www.ocmo.jp/museums/>



- 大阪市立科学館
- 大阪市立美術館
- 天王寺動物園
- 大阪城天守閣
- 大阪市立東洋陶磁美術館
- 大阪歴史博物館
- 大阪新美術館建設準備室
- 大阪市立自然史博物館
- 大阪くらしの今昔館
- 大阪文化財研究所